

(法第 26 条関係「定款変更認証申請」)

(法第 28 条関係「書類の備置き」)

(法第 29 条関係「事業報告書等の提出」)

## 2022 年度の事業報告書

2022 年4月1日から2023 年3月31日まで

認定NPO法人 a c c o m m o n

### I 事業の成果

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

##### ① 座談会事業 (みんなの TSUDO I) および ② 勉強会事業

###### ■よもやま話配信 (勉強会)

会員限定SNSプラットフォーム (Workplace) を利用したスタッフ同士のトークライブを2回配信した。アーカイブを残して会員であればいつでも視聴できるようにした。隔月配信の予定だったが、助成事業の開始に伴いスタッフの手が足りなくなり、7月以降は配信できなかった。視聴した会員から続きの要望もあったため、持続方法を検討したい。



###### ■みんなのTSUDO I (テーマ座談会)

会員2名がSSTファーストレベル講習会を受講したことを機に、SSTをテーマとした座談会を1月31日に開催した。アイーナにて、対面とオンライン (Workplace) を併用してハイブリッドで行った。話題はSSTだけでなく、ペイトレやABAにも及んだ。SSTも含む認知行動療法やDBT (弁証法的行動療法) など、その時に会員やスタッフが必要とする様々な手法について定期的に勉強していきたいという意見が出された。

■ 「学校・園との連携ガイド」出版・販売（勉強会付帯事業）

平成30年度から継続してきた「学校との連携」についての勉強会・ワークショップの内容をまとめた「学校・園との連携ガイド（2020年 岩手県版）」の販売を引き続き行った。

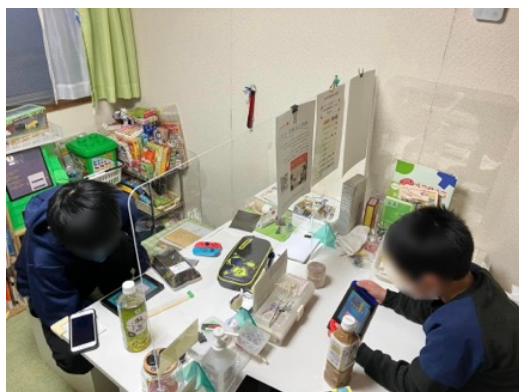


② 学習支援事業

■ まなびのHIROBA

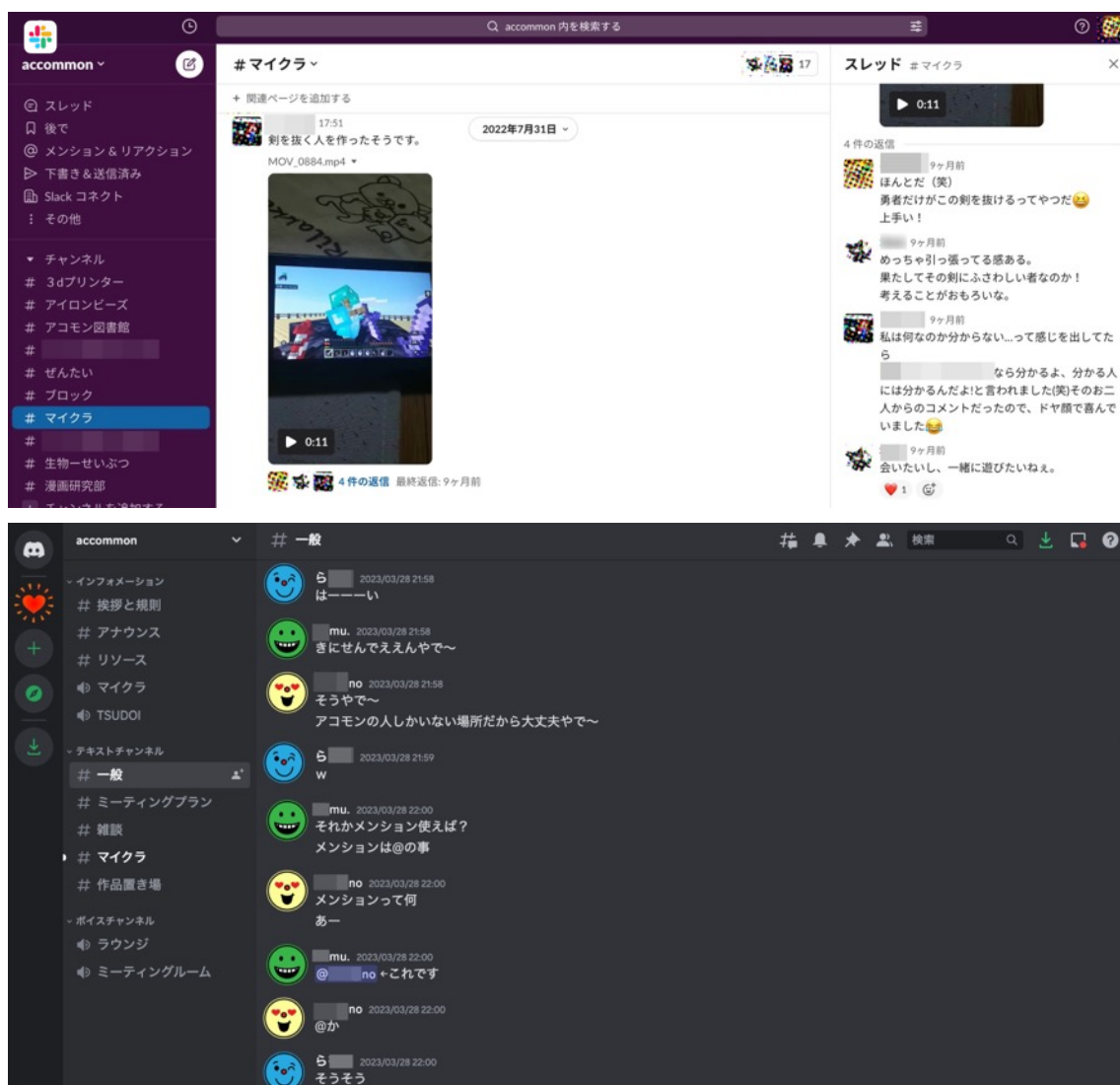
新型コロナウイルスの影響による外出控えにより、子どもの興味を引きにくい「学習」というキーワードではイベント参加に至らない親子が多い状況が続いていたため、「学習」という言葉を使わない学びの場を提供する試みを行った。

・居場所で3Dプリンターを使った創作活動をした子がいたが、作品や創作の様子を配信することを嫌がったため、Workplaceでの配信は行わなかった。同じく居場所で、Switchを使って交流を深めた子どもたちもいたが、配信は難しく、活動の様子を撮影した写真をWorkplaceで紹介するに留まった。



・大人がメインの利用者であるWorkplaceではなく、子どもが主体となるSNSプラットフォームとして、以前から場を提供しているSlackに加え、ゲーム好きな子どもたちに人気のDiscordでも場の提供を始めた。作品を披露したり、ゲームの様子を動画や写真で見せたりする他、チャット（テキスト）メッセージのやりとりやボイス機能を使った通話を楽しんでいる様子が伺えた。SNSを使ったコミュニケーションが必須となっている子どもたちが、安心して失敗しながら練習

できる場として、acccommon会員だけの閉じられたSNSの場を大人も見守り役として一緒に参加しながら活用していきたい。



・オンラインでの学生ボランティアによる宿題サポートは、サポートする学生ボランティアの確保ができなかった。おしゃべりをするだけでも良いとしたが、それでも「宿題」「勉強を教える」という部分に壁を感じた学生が多かったのかもしれない。

#### ■ ガイドブックの販売（まなびのHIROBA付帯事業）

NPO法人Hahato・co盛岡支部で作成したガイドブック「こんなことあるかな？こうしてみよう！」を寄付金付きグッズとして販売した。

## ■ 作品の販売（まなびのHIROBA 付帯事業）

これまでは、まなびのHIROBAで作製した子どもたちの作品をアイーナの復興応援バザーに出品し、売り子として販売の手伝いをする体験や自分の作品が購入される体験も提供してきたが、今年度も新型コロナウイルスの影響で、アイーナの復興応援バザーが開催されなかった。そのため、ホームページや事務所の一画での子どもたちの作品販売を継続した。また、賛助会員の新規申し込みや更新の際にも、子どもたちの作品をお礼の品として送付した。

## ■ キャリア学習

これまで続けてきた、働くことを具体的にイメージしにくい子どもに向けたキャリア学習も、いわて子ども希望基金の助成を受けられる最後の年となった。ハードルが下がるように、そしてなるべく具体的にイメージできるようにしながら、林業、イラスト、本のポップ作り（書店員）、高校めぐりの4テーマでイベントを開催した。

・7月には岩手県森林組合連合会の木幡英雄氏、高橋久祐氏を講師に招き、林業に親しむきっかけとして山歩き体験をした。見つけた木の芽を日当たりのいい場所に植え替え、名札で自分の好きな名前をつけ今後5年間は成長の様子を観察できる。学生ボランティアと子どもたちがふれあいながら山歩きを楽しんだり、講師に保護者から多くの質問が飛んで盛り上がり、スコップを手に親子で植え替えに悪戦苦闘したりと、それぞれの楽しい時間を過ごしていた。



・8月には三浦よしおデザイン事務所のよし☆ヲ先生を講師に招き、キャラクターの描き方を学んだ。座学と実技で長い時間に及んだが、子どもたちの集中力には目を見張るものがあった。立ち歩きもなく、静かな会場のあちらこちらで子どもたちの熱気が感じられた。講師が子ども一人一人にしゃがみこんで具体的にコメントをして回ったが、それが子どもたちの自信や大きな喜びに繋がったことがアンケートからわかった。



・11月にはさわや書店の栗澤順一氏、盛岡書房の高館美穂子氏を講師に招き、自分の好きな本のポップを書く体験をした。また、学生ボランティアや保護者を相手に模擬紙幣を使って本を売り、その売り上げで本を買う体験では、緊張しながらも本をすすめたり、上手く高値で売って満面の笑顔を見せたりと、子どもたちの生き生きした姿が見られた。



・10月には2年ぶりに高校めぐりを開催することができた。江南義塾盛岡高等学校では学園祭の後片付け前に訪問したため、生徒の作品を見ることができて専門コースの内容をより理解できた。岩手県立盛岡工業高等学校（定時制）では、在校生の作文発表や卒業生のビデオインタビューも視聴できて、心強く感じた保護者が多かったことがアンケートからわかった。また、新型コロナウイルス感染症の影響で昼食時に懇談することが難しかったため、懇談の場として江南義塾盛岡高等学校の卒業生、S高等学校の在校生にインタビューし、質問に答える時間を

設けた。一般の学校公開では質問しづらいデリケートな話題や生徒自身の体験など、通常では得難い情報も提供することができた。



#### 参加者の感想（アンケートより抜粋）

【絵をかくってめっちゃ楽しい!好きなキャラをかこう（イラスト）】

- ・もっと絵を書きたいと思いました。これからは、よく観察して絵をかきたいです
- ・今日は、まんが家の先生に教えてもらえる事ができてうれしかったです。そのおかげで絵を書く事がもっと好きになれたし、ぜひまた参加したいと思いました。今日は本当にありがとうございました。
- ・色々な準備を下さり、とても楽しい様子で描いていました。元々、絵を描くのが好きなので、黙々とやっていて、「集中しすぎて疲れた～」と言っていました(笑)(保護者)
- ・先生にうまいやかわいいと言ってもらって、とても自信になったと思います。本当にありがとうございました。(保護者)

### 【好きな本のポップを書こう！&本屋さん体験（ポップ）】

- ・難しくて出来ないこともあったけど、今日の自分本当にファインプレイの連続でした。
- ・面白そうな本を見つけたので、好きな本を紹介し合うのが楽しかったです。
- ・もともと本は好きだったけど、もっと好きになれたので良かったです
- ・お金を使って本屋さんの体験ができて良かったです
- ・今回のポップをかく体験はとても面白かったです。また参加したいと思いました。
- ・絵も文も上手になったので、とても良い経験になりました。

### 【色んな高校を見てみよう！（高校めぐり）】

- ・文化祭の作品が見れて楽しかった。
- ・もっと色々な話をしたかった。（懇談会）
- ・高校生の先輩方の話を聞いて参考になった。（懇談会）
- ・2つの高校の先生方の話を聞いて高校の特性を知ることができたし、色々な特性をもった高校をたくさん知れたので良かった。
- ・2つの高校をまわるのがきつい時は1つの高校をまわるツアーとかをつくっていただくとうれしいです。
- ・現役高校生の話が聞いて良かったし、多様な選択肢がある事も分かりました。（懇談会・保護者）
- ・会話、交流時間が短かった。（懇談会・保護者）
- ・学びを楽しんでいる生徒さんの姿も見ることができて、とても良い経験をさせてもらいました。
- ・定時制在校生の作文スピーチがとても素晴らしく、大人ながらに学ばせてもらえることが沢山あった。
- ・子供は一緒に来られなかったが、親としても選択肢を増やして子供と一緒に考えていけるといいなと思う。
- ・今3年生なので、近いうちに進路を決定する時期になるが、いろんな学校や定時制、単位制など、広く検討してみたいと思った
- ・パンフレット・学校案内だけでは分からない事が多く、実際に見てみる事が大事だと思いました。
- ・どの学校も子供達のために色々なことを考えてくれていることも伝わってきた

認定NPO法人 accommon  
いわて子ども希望基金助成活動



アコモン 🔍 で検索！

集団活動が苦手な子のための

# オトナのスキル体験会

大人になるってどういうこと？ 学校などの集団活動ではイメージするのがむずかしい子に、お仕事や生活で役立ついろいろなスキルを紹介するよ。なりたい大人になるために、親子で一緒にいろんな体験をしてみよう。それが未来に近づく一歩になるよ！

**対象**

集団活動が苦手な子どもとその保護者

※小学校中学年から中学生程度の内容です。高校生以上は保護者と一緒でなくても参加できます。

7/2  
土

## 木の赤ちゃんに名前をつけよう&ネームプレート作り

追加料約500円で他の木工キットも選べるよ



森の中から木の赤ちゃんを見つけ出して、育ちやすい場所に植え替えてあげよう。木でネームプレートを作って、赤ちゃんに君の好きな名前をつけよう！

場所：外山森林公園  
参加費：子ども1人 500円  
定員：親子10組程度  
講師：木幡英雄氏（岩手県森林組合連合会）  
服装・持ち物：汚れてもいい格好、長靴、帽子、軍手、雨がっぱ、飲み物



盛岡市外山森林公園  
岩手県盛岡市藪川字大の平31-1

13:00  
~  
16:00

※写真はイメージです

※小雨決行。予備日は7月23日（土）

8/7  
日

## 絵をかくってめっちゃ楽しい！好きなキャラをかこう

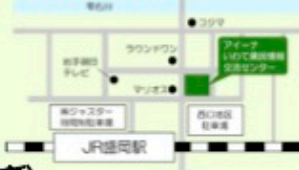


自分の好きなキャラクターのイラストをマネしてかいてみよう。よし☆ヲ先生がコツを伝授してくれるよ！よし☆ヲ先生がイラストをかくところを見たり、質問したりもできるよ。

場所：アイーナ会議室501  
参加費：子ども1人 500円  
定員：親子15組程度  
講師：よし☆ヲ先生  
持ち物：A4くらいのかきたいキャラのイラスト（クリアファイルにはさめる1枚紙）、シャープペンシル



よし☆ヲ先生のデザインのお仕事はこちらから



アイーナ  
岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号

13:30  
~  
15:30

お申し込みは下のGoogleフォームから

※フォームから申し込みできない場合はIPやLINEからお問い合わせ下さい

7月2日の体験会はこちら



8月7日の体験会はこちら



ご協力者を募集中です

子どもたちのキャリア教育・体験に力をお貸しくださる事業主のみなさまを募集しております。ご協力よろしくお願いたします。



LINE公式アカウント アコモン



@acccommon

主催：認定NPO法人 accommon

後援（申請中）：盛岡市教育委員会 矢巾町教育委員会 紫波町教育委員会

※この事業は公益財団法人いきいき岩手支援財団の「令和4年度いわて子ども希望基金」の助成を受けて実施いたします。最新の予定は、ホームページをご確認ください。





 **acccommon** × **ゾウトハナ**

アコモン  で検索！  
認定NPO法人 acccommon  
いわて子ども希望基金助成活動

# オトナのスキル体験会

大人になるってどういうこと？ 学校などの集団活動ではイメージするのがむずかしい子に、お仕事や生活で役立ついろいろなスキルを紹介するよ。なりたい大人になるために、親子で一緒にいろんな体験をしてみよう。それが未来に近づく一歩になるよ！

**対象** 集団活動が苦手な子どもとその保護者  
※小学校高学年から中学生程度の内容です。高校生以上は保護者と一緒でなくても参加できます。

 **好きな本のポップを書こう！ & 本屋さん体験** 

本屋さんでポップを見かけて、おすすめされている本が欲しくなって買った経験はあるかな？本の魅力を伝えて、買う気にさせちゃうポップってすごいよね。

君の好きな本を一冊選んでポップ作りにチャレンジしてみよう！さわや書店の店員さんが優しくコツを教えてくれるから大丈夫。ポップ作りが終わった後は、本屋さん体験もあるよ。

**日時** **11**月 **5**日 **土**  
**13:30 ~ 15:00**

**場所** ふれあいランド岩手  
第1第2研修室

**参加費** 子ども1人 500円

**定員** 親子15組 程度

**講師** 盛岡書房 高館美保子さん  
さわや書店 栗澤順一さん

**持ち物** おすすめしたい好きな本  
(漫画でも図鑑でもなんでもOK)



※写真はイメージです

**申込み** 下記 QRコードからお申し込みください。  
締め切りは**10月27日(木)**まで。



※定員に達した場合は期限前に募集を終了する場合がございます。

主催：認定NPO法人 acccommon  
協力：象と花プロジェクト さわや書店 栗澤順一氏  
後援（申請中）：盛岡市教育委員会 矢巾町教育委員会 紫波町教育委員会  
※この事業は公益財団法人いきいき岩手支援財団の「令和4年度いわて子ども希望基金」の助成を受けて実施いたします。最新の予定は、ホームページをご確認ください。



認定NPO法人 accomon  
 いわて子ども希望基金助成活動

色んな高校
を見てみよう！

普通高校以外にも、様々な高校があることを知っていますか。  
 農業高校や工業高校、商業高校などの専門高校もあれば、通信制や単位制の高校、定時制の高校など登校のスタイルが異なるものもあります。  
 高校に通うあなたを想像してみてください。あなたにとって一番大事にしたいことはなんでしょうか？  
 普通高校の状況もリサーチしつつ、視野を広げて、より多くの選択肢の中からそれぞれに合ったステップと一緒に考えてみましょう。

**実施日** 令和4年 **10月4日** 火

**旅行代金** おひとり様 2,000円 (バス・昼食含)  
※お申し込み後に請求書を送付いたします。

**開催場所** 江南義塾盛岡高等学校  
 岩手県立盛岡工業高等学校 (定時制)

**持ち物** 内履き (かかとのあるものが歩きやすい)  
 筆記用具

**対象・募集人数** 集団活動が苦手な中学生、高校生と保護者、関係者  
※中学生は保護者の同伴が必要です。  
 25名 (最小催行人数10名)  
 ※達しない場合は中止の場合がございます。  
 ※バスに添乗員は付きません。

**お申込み** 9月 26日 (月) 締切  
※裏面を参照の上、株式会社みちのりトラベル東北まで。

**お問合せ** ※裏面を参照の上、アコモンまで。

月日	行 程						食事
10/4 (火)	盛岡駅西口	江南義塾盛岡高等学校	昼食	盛岡工業高等学校 (定時制)	盛岡駅西口		朝：×
	10:00出発	説明・見学	かに政宗盛岡店	休憩&懇談会 (百年館)	説明・見学	解散	昼：○
	※集合9:45	10:30 ~ 12:30	13:00 ~ 13:50	14:10~	14:30~17:00	17:30頃	夜：×

\*いただいた個人情報は、アコモンと株式会社みちのりトラベル東北で管理いたします。

主催：認定NPO法人 accomon  
 旅行企画・実施：株式会社みちのりトラベル東北 観光庁長官登録旅行業第2012号  
 (社) 全国旅行業協会会員 総合旅行業務取扱管理者 伊藤俊平  
 後援 (申請中)：岩手県教育委員会、盛岡市教育委員会、矢巾町教育委員会、紫波町教育委員会  
 ※この事業は、公益財団法人いきいき岩手支援助団の「令和4年度いわて子ども希望基金」の助成を受けて実施いたします。

**過去の見学のようす**

※今回とは違う訪問校の様子も掲載していますので、実施内容が異なる場合があります。

校内見学だけでなく、生徒さんの様子を近くで見学できます！生徒さんにご協力いただいて、生の声を聞かせてもらう場も設ける予定です。

全体説明会

懇談会

今年の懇談会は懇食で昼食の後、別会場で開催して行います。子どもの休憩室もありますよ。

めぐるん

生徒さんの発表

実習見学

校内見学

### ③ 体験活動事業

#### ■ あそびのHIROBA

コロナ禍でイベント参加のハードルが高い中、どうやってイベントを開催するかを模索していたが、ポケモンカードで遊ぶために複数家族での居場所利用が続いたことにヒントを得て、これまで時々開催してきたあそびのHIROBAボードゲームを毎月の定期開催にすることとした。カードゲームをするには事務所は狭く、子どもたちがぶつかって危険なため、子どもたちの安全や過ごしやすさも考慮し、開催場所を公民館の部屋に変更した。また、参加の予定を入れやすくするため、毎月第1日曜日を基本の開催日とした。あそびのHIROBAの再開は9月の親子エクササイズ（清田博美先生）が初回であった。1月の創作活動では、臨床美術の三田聡子先生にご協力いただき、カードゲームも一緒にできるあそびのHIROBAとして陶芸教室を開催した。

子どもたちは好きなカードゲームを通じてあっという間に仲良くなったり、対戦相手のことを考えたり、自分の言葉で話したり、待てる時間が長くなったりと、成長している場面が頻繁に見られるようになった。さらに、あそびのHIROBAだから、一緒に遊んでいる仲間と一緒にだからという理由で、カードゲーム以外の他の活動への参加が促されるという非常に嬉しい効果もあった。楽しいことや好きなことから世界が広がる良い例であると考えている。



#### ■ 盛岡YMCA サポートプログラム（チャリティランプログラム）」

盛岡YMCA様が提供する発達障がいのある子どもたちのための体験活動（サポートプログラム）において、アコモンは子どもたちの特性や対処法を伝えたり、企画会議に参加し具体的な意見を述べたりすることで協力しているが、昨年度はコロナ禍のために対面での開催は延期となってしまった。

今年度は、オンラインイベントやYMCAテレビ（動画）を通じて子どもたちがボランティアリーダーと交流し馴れる経験を重ねた後、8月の「カレーライスをつくろう！」と1月の「ゲレンデで遊ぼう！」に参加することができた。サポートプログラムではボランティアリーダーと子どもとが1対1のバディを組んで活動することで、その子に合わせた活動参加が可能となる。安心できる環境にプラス

して、歳の近いお兄さんお姉さんと一緒に活動することで子どもたちのモチベーションが強く引き出されていた。1月のイベントで当日の朝までスキーはやらないと言っていた子がリーダーと話した途端にスキーをやる気になったエピソードはその好例である。



サポートプログラムの元になっている盛岡YMCA様のチャリティー活動である「インターナショナル・チャリティーラン2022」（3月開催）に、アコモンも2チームで参加した。子どもたちは会場の人数の多さに最初は緊張気味だったものの、次第に本領を発揮していった。得点が及ばず優勝は逃したが、ジャンケン列車でワンツーフィニッシュを決めるという快挙も成し遂げた。多人数、新規の会場でも活動に参加できたのは「YMCAだから」「アコモンだから」という理由が大きい。長く寄り添い続けた結果、子どもたちにとって安心できる場となってくださった盛岡YMCA様に感謝しつつ、これからも共に歩んでいきたい。



#### ■ 防災学習（災害時のライフハック）

9月1日の防災の日に開催される盛岡市シェイクアウトにアコモンも参加した。どこでも誰でも参加できる一分間の避難訓練に各自が各所で参加した他、Workplaceでの安否確認の機能を使って、オンラインで安否確認をする際に実際どうなるかを試した。

アイーナの防災への取り組みの取材動画第一弾をYouTubeで公開している。続きは編集したものから随時公開していく予定であるが、人手が足りず再開の目処は立っていない。

#### ④ 機関紙等発行事業

広報誌の発行は行えなかった。

#### ⑤ その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

##### ■ 全般

ホームページ、活動ブログ、LINE公式アカウント、Facebook、Twitter、情報受信希望者へのメール等により情報の発信を行った。

##### ■ 相談・居場所「あいのま」

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、事務所で感染対策をしながら、相談・居場所の提供を行った。昨年度に引き続き、大人の当事者の自主勉強会の場としての居場所利用が続いている他、あそびのHIROBA再開の契機となったポケモンカードゲーム遊びでの居場所利用も見られた。また、一家と社会を繋ぐ母親サポートの点から「もくもく手芸部」も9月から定期的を開催することとした。話すのが得意ではないから座談会には参加しづらい、でも手を動かして何かもの作りをしながらであればリラックスできるという層を対象とし、母親を孤立させないことを目的としている。

イオンのギフトカードで購入した材料を使い、居場所で初めてのレジン制作に取り組んだ子どもたちもいた。やってみたいけれど、一式揃えるのにお金と手間がかかるために踏み出せない場合もある。居場所利用で気軽に挑戦して好きなこと、楽しいことを見つけてほしい。また、年齢の大きい子が小さい子にiPadの使い方を教える場として居場所を利用した例もあった。好きなものや興味のあるものを通して異年齢の子どもたちが仲良く活動することは、本人たちだけでなく、それを見守る保護者にとっても成長を感じる嬉しいことであると言える。



■ 支援グッズの販売（居場所付帯事業）

サポートブックや受診メモなどの支援グッズの販売を行った。

■ 助成金等の申請

居場所事業「あいのま」を公益財団法人SOMPO福祉財団による2022年度社会福祉事業NPO基盤強化資金助成に申請したが採択されなかった。

「子どもの発達に悩む保護者のための“かんたん手芸でリラックスタイム”」を2022年こくみん共済coop地域貢献助成金に申請したが採択されなかった。

経済産業省中小企業庁による「事業復活支援金」を申請し、交付を受けた。

■ 研修等への参加

日時	内容
5月13日 (金)	「誰でも参加できるSST（SSTの基本）」（主催：岩手県立大学（アイーナ事業） 講師：岩手県立大学 看護学部精神看護学教育研究分野 講師・SST普及協会認定講師：佐藤史教 先生）に、スタッフ・会員が参加（オンライン）した。

5月21日 (土)	令和4年度 信州大学子どものこころ診療部セミナー「学習障害をもつ子どもの理解と支援」(主催:信州大学附属病院子どものこころ診療部 信州大学医学部子どものこころの発達医学教室 講師:信州大学学術研究院[教育学系]教授 高橋 知音 先生)に、スタッフが参加(オンライン)した。
6月30日 (金)	「盛岡市障がい児教育推進協議会総会」(主催:盛岡市障がい児教育推進協議会/盛岡市教育委員会 講師:岩手大学教育学部 特別支援教育科教授 柴垣 登 先生)に、スタッフが参加した。
7月7日 (木)~8月5日(金)	「女性の発達障害を理解する Part 2」(主催:『エール』鳥取県発達障がい者支援センター 講師:一般社団法人 発達障害専門センター代表理事 神尾 陽子 氏)に、会員が参加(オンライン)した。
7月9日 (土)	「第27回 SST全国経験交流ワークショップ2022@近畿」(主催:一般社団法人 SST 普及協会)に、スタッフ・会員が参加(オンライン)した。
7月29日 (金)	「誰でも参加できるSST(SSTの広がり)」(主催:岩手県立大学(アイーナ事業) 講師:岩手県立大学 看護学部 精神看護学教育研究分野 講師・SST 普及協会認定講師:佐藤 史教 先生)に、スタッフ・会員が参加(オンライン)した。
8月6日 (土)	「特別支援教育と作業療法フォーラム」(主催:特別支援教育と作業療法フォーラム 講師:株式会社児童発達支援協会 リハビリ発達支援ルーム かもん作業療法士 鴨下 賢一 氏)に、スタッフが参加(オンライン)した。
8月28日 (月)	「『ヴィストカレッジ』(放デイ・児童発達)における学習につなげるための支援 ~園や学校での育ちを応援する」(主催:WOW スクールオンラインセミナー 講師:作業療法士 特別支援教育士渡邊 純子氏)に、スタッフが参加(オンライン)した。
9月4日 (日)	「青年期・成人期における発達障害のある人を誰一人取り残さない社会に向けて」(主催:筑波大学人間系 准教授 佐々木銀河 講師:信州大学医学部子どものこころの発達医学教室 教授:本田 秀夫 先生)に、スタッフが参加(オンライン)した。

9月15日 (木)～30日 (金)	「おうち性教育はじめませんか!?第2弾!『思春期の生と性～反抗期がやってきた!親のあり方・関わり方～』」 (主催:盛岡市・もりおか女性センター 講師:日本思春期学会名誉会員 村瀬 幸浩 氏)に、スタッフ・会員が参加(オンライン)した。
9月23日 (金)	「国連はなぜ日本に特別支援教育中止を勧告したのか」(主催:東京大学教育学研究科附属 バリアフリー教育開発研究センター:インクルーシブ教育定例研究会 講師:東洋大学人間科学総合研究所 客員研究員 一木 玲子 氏、東京大学大学院教育学研究科 研究生 佐藤 雄哉 氏)に、スタッフが参加(オンライン)した。
10月16日 (金)	「イタリアのフルインクルーシブ教育の実際」(主催:東京大学教育学研究科附属 バリアフリー教育開発研究センター 講師:星美学園短期大学 日伊総合研究所 客員研究員 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 名誉所員 大内 進 先生、神奈川県特別支援学校教諭 大内 紀彦 先生)に、スタッフが参加(オンライン)した。
11月11日 (金)	「誰でも参加できるSST」(主催:岩手県立大学(アイーナ事業) 講師:岩手県立大学看護学部精神看護学教育研究分野 講師・SST普及協会認定講師:佐藤 史教 先生)に、スタッフ・会員が参加(オンライン)した。
11月22日 (火)	岩手県子ども虐待防止フォーラム「子ども虐待防止に向けて～脳科学を踏まえた観点から～」(主催:岩手県 講師:理化学研究所脳神経科学研究センター 親和性社会行動研究チーム チームリーダー 黒田 公美 氏)に、スタッフが参加した。当法人代表である成田が演者として登壇し、事例発表「発達障がい世帯の支援」と題して実践報告をした。
11月29日 (火)	母子保健講演会「愛着障害とは?～発達障害との違い、関係～」(主催:盛岡市医師会 講師:和歌山大学教育学部 教授 米澤 好史 先生)に、スタッフが参加した。
12月7日 (水)	令和4年度情報メディア対応能力養成講座「インターネットを巡る青少年の犯罪被害等の現状について」「ゲーム・ネット依存症について」(主催:岩手県 講師:岩手県警察本部 人身安全少年課 少年企画補佐兼少年サポートセンター 所長 高橋 充志 氏 岩手医科大学医学部 神経精神科学講座 助教 岩手医科大学附属病院 児童精神科 内出 希 氏)にスタッフが参加した。



12月17日 (土)～18日 (日)	「SST初級研修会」(主催:SST普及協会北東北支部 講師:岩手県立大学 看護学部 精神看護学教育研究分野 講師・SST普及協会認定講師:佐藤史教 先生)に、会員が参加した。
12月23日 (金)	「SNSを活用した情報発信講座 ～魅力的で効果的な情報発信とは～」(主催:NPO活動交流センター 講師:東北大学大学院 情報科学研究科 准教授 特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる 副代表理事 岡田 彩 先生)に、スタッフが参加(オンライン)した。
1月20日 (金)	「誰でも参加できるSST」(主催:岩手県立大学(アイーナ事業) 講師:岩手県立大学 看護学部精神看護学教育研究分野 講師・SST普及協会認定講師:佐藤史教先生)に、スタッフ・会員が参加(オンライン)した。
1月29日 (日)	「文科省調査、発達障害8.8%をどう理解すればよいのか」(主催:東京大学教育学研究科附属 バリアフリー教育開発研究センター 講師:児童精神神経科医 石川 憲彦 先生)に、スタッフが参加(オンライン)した。
2月7日 (日)～3月 31日(水)	「ショーケース:障害のある中高生に対する移行支援の取組」(主催:筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター)に、会員が参加(オンライン)した。
2月13日 (月)～3月 24日(金)	「発達障害児者が地域の中で安心して生活をしていくために」(主催:発達障害者支援センター全国連絡協議会九州・沖縄ブロック/国立障害者リハビリテーションセンター 発達障害情報・支援センター 講師:国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 知的・発達障害研究部 部長 岡田 俊 氏、社会福祉法人けやきの郷 総務部長・災害対策副本部長 内山 智裕 氏)に、スタッフが参加した。
2月22日 (日)	「あらためて知りたい性のこと」(主催:紫波地域障がい者基幹相談支援センター 講師:岩手県男女共同参画センター職員 日本思春期学会性教育認定講師 いわて思春期研究会 副会長 佐藤 卓 氏)に、スタッフが参加した。
3月11日 (土)	言総研 言語聴覚士セミナー「小児の書字障害の理解・評価・支援」(主催:九州大学人文科学研究院附属 言語運用総合研究センター 講師:北陸大学教授 河野 俊寛先生)に、スタッフが参加(オンライン)した。

3月13日 (月)	「誰でも参加できる SST」(主催:岩手県立大学(アイーナ事業) 講師:株式会社ここから 代表取締役 看護プランナー 村本 好孝 氏、岩手県立大学 看護学部精神看護学教育研究分野 講師・SST 普及協会認定講師:佐藤 史教 先生)に、スタッフ・会員が参加した。
3月19日 (日)	「ペアレントメンター養成講座」(主催:JDDnet いわて)に、スタッフ・会員が参加した。
3月24日 (金)	「休眠預金活用事業紹介セミナー～休眠預金を活用して活動を発展させるためには～」(主催:NPO 活動交流センター 講師:一般財団法人日本民間公益活動連携機構 事業部長 和田 泰一 氏、一般財団法人日本民間公益活動連携機構 プログラムオフィサー 福田 文 氏)に、スタッフ・会員が参加した。
3月26日 (日)	「吉藤オリィ講演会&古新舜監督映画「あまのがわ」上映会～番田雄太の故郷盛岡の地で～」(主催:吉藤オリィ講演会&古新舜監督映画「あまのがわ」盛岡上映会実行委員会 講師:株式会社オリィ研究所 共同創業者 代表取締役所長 CVO 吉藤オリィ)に、スタッフ・会員が参加した。

#### ■ 活動の展示・メディア等掲載

盛岡市市民協働推進課のポスターセッションにて活動の展示を行った。

メディア等への掲載はなかった。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名(定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
①座談会事業 ■みんなのTSUDOI	集団活動が苦手な子どもの家族や本人を対象とした、悩みや情報を共有するための座談会であるが、コロナ禍により対面座談会は行えなかった。					608
②勉強会事業 ■よもやま話配信	会員限定 SNS プラットフォームを利用して、スタッフ同士のトークをライブ配信した。オンデマンド配信も行なった。	4/20 6/16	事務所	3	会員家族(保護者) 26組	
■テーマ座談会	「SST」をテーマとした座談会を行なった。対面とオンライン会議を併用し、情報の提供を行なった。	1/31	アイーナ オンライン	3	盛岡市内の保護者 延べ5名	
〔勉強会事業付帯事業〕 □出版および出版物販売	「学校・園との連携ガイド」出版・販売	随時	事務所等 ホームページ	3	盛岡市内の家族や本人、支援者 延べ6名	
③学習支援事業 ■まなびのHIROBA	ボードゲーム・書籍等の貸し出しを行なった。	随時		3	会員家族 26組	

<p>[まなびのHIROBA 付帯事業] □作品の販売 □ガイドブックの販売</p>	<p>居場所等で子どもたちが作製した販売用の作品を販売した。  NPO 法人 Hahato・co 盛岡支部で作成したガイドブック「こんなことあるかな? こうしてみよう!」を販売した。</p>	<p>随時</p>	<p>事務所等  アコモンストア</p>	<p>3</p>	<p>全国 延べ 25 名  延べ 1 名</p>	
<p>④体験活動事業 ■あそびのHIROBA</p>	<p>集団での活動が苦手な子どもと保護者が、運動や創作など伸び伸びと体験できる会を月一回開催した。  親子エクササイズ  ボードゲーム  陶芸教室&amp;ボードゲーム  インターナショナル・チャリティーラン参加</p>	<p>9/11  12/4 2/12  1/8  3/5</p>	<p>西部公民館  西部公民館  西部公民館  岩手県立大学体育館</p>	<p>3</p>	<p>盛岡市、滝沢市、紫波町、一関市等の親子 延べ 61 名</p>	
<p>■盛岡 YMCA サポートプログラム</p>	<p>盛岡 YMCA 様に協力し、集団での活動が苦手な子どもが野外活動できる会を開催した。  野外炊事</p>	<p>8/20</p>	<p>外山森林公園</p>	<p>3</p>	<p>盛岡市、一関市等の親子 延べ 34 名</p>	

	スキー&雪遊び	1/22	岩手高原 スノーパ ーク			
■防災学習	盛岡市シェイクアウトに参加した。会員限定 SNS により安否確認を行なった。	9/1	各家庭	3	会員家族 26組	
⑤機関紙等発行事業	広報誌の発行は行えなかった。					
⑥その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	情報発信 居場所（18件） 相談（12件） 助成金申請 研修等への参加	随時	事務所等	4	（居場所・相談）岩手県内の家族や本人 延べ 79名	
助成事業						
③学習支援事業 ■キャリア学習	集団活動が苦手な子どもと保護者を対象に、進路や仕事について学び考える活動を行った。			4	盛岡市、滝沢市、紫波町、一関市等の親子延べ 69名	481
オトナのスキル体験会	木の赤ちゃんに名前をつけよう&ネームプレート作り	7/2	外山森林公園			
	絵をかくってめっちゃ楽しい！好きなキャラをかこう	8/7	アイーナ			
	色んな高校を見てみよう！	10/4	江南義塾盛岡高等学校、岩手県立盛			

	好きな本のポップを書こう！&本屋さん体験	11/5	岡工業高等学校 ふれあいランド岩手			
--	----------------------	------	----------------------	--	--	--

(2) その他の事業

委託事業としてWEBサイトSEO対策等を請け負った。